

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成28年4月14日(2016.4.14)

【公表番号】特表2015-512436(P2015-512436A)

【公表日】平成27年4月27日(2015.4.27)

【年通号数】公開・登録公報2015-028

【出願番号】特願2015-503874(P2015-503874)

【国際特許分類】

C 07 D	241/18	(2006.01)
A 61 P	7/06	(2006.01)
A 61 K	31/4965	(2006.01)
A 61 P	3/02	(2006.01)
A 61 P	25/28	(2006.01)
A 61 P	9/00	(2006.01)
A 61 P	1/02	(2006.01)
A 61 P	1/00	(2006.01)
A 61 P	25/24	(2006.01)
A 61 P	25/06	(2006.01)
A 61 K	9/28	(2006.01)
A 61 K	9/48	(2006.01)
A 61 K	9/20	(2006.01)

【F I】

C 07 D	241/18	C S P
A 61 P	7/06	
A 61 K	31/4965	
A 61 P	3/02	
A 61 P	25/28	
A 61 P	9/00	
A 61 P	1/02	
A 61 P	1/00	
A 61 P	25/24	
A 61 P	25/06	
A 61 K	9/28	
A 61 K	9/48	
A 61 K	9/20	

【手続補正書】

【提出日】平成28年2月23日(2016.2.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0098

【補正方法】変更

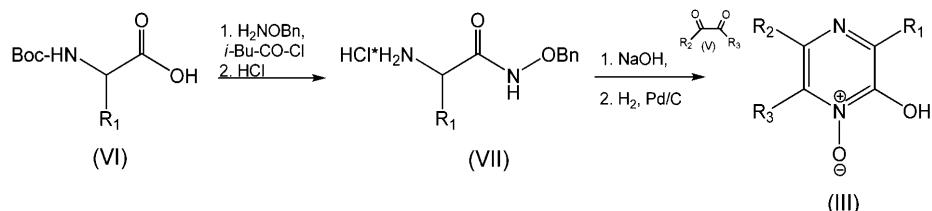
【補正の内容】

【0098】

同様に、一般式(III)で表される各配位子の製造には、当業者に周知である反応条件下にわずかに変更された合成経路を用いることもできる。すなわち、Ohkandaらの合成(Bull. Chem. Soc. Jpn. 1993, 66, 841-847)において、一般式(VI)で表されるN末端保護アミノ酸から出発して、対応するO-ベンジル保護アミノヒドロキサム酸(式(VII))が調製できることが、これは一般式(

V)で表される1-2-ジカルボニル化合物との反応及びO-ベンジル基の開裂後に一般式(I II)で表される配位子を形成することができる。この代わりの合成経路においても、式(I II a)が生じることがある。

【化 2 1】



Boc = t - ブチルオキシカルボニル ; Bon = ベンジル

【手續補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 1 4 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

[0 1 4 9]

上記表中に結果に示されるように、本発明の実施例1の対応するピラジン化合物は、ヨーロッパ特許公報第0138420号と同様のピリジン比較化合物と比較して優位に改善された鉄利用を示す。本発明の実施例化合物2、3、4、5及び10も、該比較化合物と比較して改善された鉄利用を示す。